

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ110	1	森永ミルク中毒事件	経済企画庁国民生活局消費者行政第一課	わが国における消費者被害の実態	1978.11.30
MZ110	2	第68回国会衆議院社会労働委員会における森永ミルク中毒事件に係る質疑応答		第68回国会衆議院社会労働委員会議録	1972.04.06
MZ110	3	(直審4-56)森永ミルク中毒事件に関連し森永乳業株式会社が負担する救済事業費等の取扱いについて ※森永乳業株式会社副社長宛の回答書	国税庁直税部審理課長事務取扱直税部長		1974.07.03
MZ110	4	第71回国会参議院社会労働委員会における森永ミルク中毒事件に係る質疑応答		第71回国会参議院社会労働委員会議録第3号	1973.02.27
MZ110	5	第23回国会衆議院社会労働委員会における森永ミルク中毒事件に係る質疑応答		第23回国会衆議院社会労働委員会議録第7号	1955.12.14
MZ111	1	岡山県に発生したドライミルクに起因する中毒事件の発生について(各都道府県衛生部局長宛)	厚生省公衆衛生局環境衛生部長		1955.08.24
MZ111	2	ドライミルクに起因する中毒事件について(各都道府県衛生部局長宛)	厚生省公衆衛生局環境衛生部長		1955.08.25
MZ111	3	砒素の薬理作用・中毒症状等について(各都道府県・政令市衛生部局長宛)	厚生省公衆衛生局環境衛生部長		1955.08.26
MZ111	4	森永MF印調製粉乳による砒素中毒の患者処理について(各都道府県知事宛)	厚生省公衆衛生局長		1955.09.01
MZ111	5	ドライミルク中毒事件発生にともなう人工栄養等の対策について(衛生部局長宛)	厚生省児童局母子衛生課長		1955.08.27
MZ111	6	(衛発第698号)砒素化合物を経口的に摂取した場合の砒素中毒患者の診断基準等の送付について(各都道府県知事宛)	厚生省公衆衛生局長		1955.11.08
MZ111	7	森永粉乳中毒患者の精密検診について(各都道府県知事宛)	公衆衛生局長		1956.03.26
MZ111	8	森永粉乳中毒患者の精密検診の結果について	厚生省公衆衛生局環境衛生部食品衛生課長		1956.11.21
MZ111	9	(被災者同盟の)公開質問状に対する回答要旨	厚生省		1956..
MZ111	10	粉乳中毒の顛末	梅香栄之助(乳肉衛生課)	厚生 の 指標	1955.12.
MZ111	11	粉乳中毒事件の教えるもの	楠本正康	食品衛生研究	1955.11.
MZ111	12	調製粉乳事件に寄せて	阿曾村千春(乳肉衛生課)	食品衛生研究	1955.10.
MZ111	13	森永砒素中毒事件雑感	小谷新太郎	食品衛生研究	1955.11.
MZ111	14	(森永ミルク中毒事件への)所感	阿曾村千春(乳肉衛生課)	食品衛生研究	1955.11.
MZ111	15	報道面より見た森永ドライミルク事件	小田部学	食品衛生研究	1955.11.
MZ111	16	厚生省、砒素中毒患者の診断基準等を通達一日医の答申に基き		日本医事新報	1955.12.03
MZ111	17	ドライミルク中毒事件について	山中和(厚生省母子衛生課技官)	厚生	1955.09.
MZ111	18	MF印調製粉乳による砒素中毒事件の概要について	梅香栄之助(乳肉衛生課)	食品衛生研究	1955.11.
MZ111	19	調製粉乳に起因する砒素中毒患者について	佐竹繁男(厚生省公衆衛生局食品衛生課)	日本公衛誌	1955.11.15
MZ111	20	調製粉乳による中毒事件について	阿曾村千春(厚生省乳肉衛生課長)	日本公衛誌	1955.12.15
MZ111	21	(環食第137号)森永ミルク中毒事件にかかる未確認飲用者は握調査の実施について	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1974.06.25
MZ111	22	五人委員会第1回会合情報	厚生省環境衛生部長		1955.10.23
MZ111	23	(環食第475号)森永ミルク中毒事件被害者名簿の取扱いについて	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1972.09.18

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ111	24	(環食第137号)森永ミルク中毒事件にかかる未確認飲用者のは握調査の実施について ※ひかり協会理事長宛の通知文	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1974.06.25
MZ111	25	(環食第156号)森永砒素ミルク中毒患者名簿(写)の送付について ※ひかり協会理事長宛の通知文	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1974.07.16
MZ111	26	(環食第63号)「森永砒素ミルク事件に係る未確認飲用者のは握調査」結果の報告形式について ※ひかり協会理事長宛の通知文	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1975.04.03
MZ111	27	(環食第233号)森永砒素ミルク中毒事件に係る未確認飲用者のは握調査について ※ひかり協会理事長宛の通知文	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1975.09.23
MZ111	28	(環食第236号)森永砒素ミルク飲用者のは握調査研究について ※ひかり協会理事長宛の通知文	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1975.09.26
MZ111	29	(環食第283号)民法第34条に定める財団法人で学術の研究を目的としている法人であることの証明書の送付について ※ひかり協会理事長宛の通知文	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1976.12.11
MZ111	30	(環食第198号の2)森永砒素ミルク事件に係る未確認飲用者のは握調査のは握要領について ※ひかり協会理事長宛の通知文	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1974.09.13
MZ111	31	食品衛生研究:粉乳中毒特集 ○粉乳中毒事件の教えるもの……楠本正康 ○森永砒素中毒事件雑感……小谷新太郎 ○所感……阿曾村千春 ○森永MF印調製粉乳事件について……佐竹繁男 ○MF印調製粉乳による砒素中毒事件の概要について……梅香栄之助(乳肉衛生課) ○国会の動向……佐野文彦 ○報道面より見た森永ドライミルク事件……小田部学 ○食品中の砒素の検出及び定量……川城巖(国立衛生試験所食品部長)、岡田太郎(国立衛生試験所) ○食品中の微量元素について(その1)……山田幸孝 ○乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の一部改正について……村越恒夫 ○食品協会の今後の方向……佐野文彦	厚生省食品衛生課・乳肉衛生課	食品衛生研究	1955.11.05
MZ111	33	(31乳技第113号)育児用粉乳検査成績報告の件	財団法人日本乳製品技術協会		1956.12.20
MZ111	34	(32乳技第7号)11月及び12月 育児用粉乳検査成績報告の件	財団法人日本乳製品技術協会		1957.01.21
MZ111	35	(環食第71号)森永ひ素ミルク中毒事件に係る死亡者の死亡診断書等の記載事項証明書の交付方について(依頼)	厚生省環境衛生局長		1983.04.30
MZ111	36	(環食第94号)森永ひ素ミルク中毒事件に係る死亡者の死亡診断書等の記載事項証明書の取得について(依頼)	厚生省環境衛生局食品衛生課長		1983.06.06
MZ120	1	森永ドライミルクの検査について	京都府衛生研究所		1955.08.
MZ120	2	岡山県下の砒素粉乳中毒患児の中学校3年における健康診断地の検査調べ	岡山県衛生部		1972..
MZ120	3A	岡山県における粉乳砒素中毒症発生記録(一部分のみ)	岡山県		1957.10.01
MZ120	3B	岡山県における粉乳砒素中毒症発生記録	岡山県		1957.10.01
MZ120	4	森永ひ素ミルク飲用者認定調査表	京都府・京都市		1974..
MZ120	5	森永ひ素ミルク飲用者申出書	京都府		1974..
MZ120	6	昭和30年8月岡山県における粉乳砒素中毒症発生記録 (12~20頁、227~231頁、238~241頁、330~333頁の写し)	岡山県衛生部(発行) 濱本英次(編集)		1957.10.01
MZ120	7	(森永ミルク未確認患者調査票への協力の)お願いとごあいさつ	田中敬祐二(愛媛県保健部公衆衛生課長)		1974.12.
MZ120	10	(環生第728号)森永ひ素ミルク飲用認定に対する面接調査について ※ひかり協会理事長宛の通知文	佐賀県保健環境部長		1976.10.26

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ120	14	〈冊子〉大阪府下における森永MF印粉乳中毒事件の概要	大阪府衛生部		1957.03.
MZ120	15	〈母第271号〉森永ミルク中毒に関する未確認飲用者の調査実施について	兵庫県衛生部長		1974.11.25
MZ120	16	〈母第271号の2〉森永ミルク中毒に関する飲用者の調査実施に伴う広報の依頼について	兵庫県衛生部長		1974.11.25
MZ120	17	検診の結果についてお知らせ	兵庫県森永ミルク中毒被害児検診委員会委員長・黒丸正四郎、兵庫県衛生部長・日笠譲		1975.02.14
MZ132	1	「森永裁判」の特徴	中坊公平(弁護士)	恒久救済	1982.10.01
MZ132	11	森永ミルク中毒事件—赤ちゃんの大量被害	田中二郎、佐藤功、野村二郎	戦後政治裁判史録②	1980.10.15
MZ132	12	昭和48年(ワ)第1495号森永ミルク中毒損害賠償請求事件—訴状			1973.04.10
MZ132	21	森永ミルク中毒損害賠償請求事件・岡山地方裁判所—訴状			1973.08.24
MZ132	23	大阪裁判第15回口頭弁論速記録の一部抜粋			1974.05.08
MZ132	24	(訴の取り下げにあたっての)ご挨拶	森永ミルク中毒被害者民事訴訟原告団一同		1974.05.
MZ132	25	〈冊子〉民事訴訟提起から終結に至るまでの全般的総括と今後の課題	森永ミルク中毒被害者弁護団		1974.07.
MZ132	28	特集・森永ミルク中毒事件判決 ①座談会:森永ドライミルク中毒事件判決と今後の問題点……石堂功卓、川井健、藤木英雄 ②信賴の原則と予見可能性—食品事故と交通事故とを対比させつつ……西原春夫 ③過失犯における予見可能性と個人の監督責任の限界……三井誠 ④森永ミルク中毒事件の経緯と現状……森永ミルク中毒被害者弁護団 ⑤いわゆる森永ドライミルク中毒事件差戻後第一審判決要旨		ジュリスト	1974.01.15
MZ211	2	謹んでお詫び申し上げます	大野勇(森永乳業代表取締役)	毎日新聞	1955.08.31
MZ211	3	森永乳業スポット(ラジオでの謝罪)	森永乳業株式会社		1955.08.
MZ211	4	森永乳業コマーシャル(ラジオでの謝罪スポット)	森永乳業株式会社		1955.08.
MZ211	7	(厚生省公衆衛生局長宛)中毒被災者に対する補償問題処理に関する御指示方の依頼について	大野勇(森永乳業専務取締役)		1955.10.01
MZ211	8	(同盟全協への)回答書	大野勇(森永乳業代表取締役)		1955.12.26
MZ211	14	(森永乳業が守る会に示した)恒久措置案(手書き)	森永乳業株式会社		1971.12.19
MZ211	15	森永乳業が斉藤昇厚生大臣に宛てた陳情書	大野勇(森永乳業取締役社長)		1972.04.05
MZ211	16	森永粉乳中毒事件に対する当社の基本態度について	森永乳業株式会社		1972.08.16
MZ211	17	(第14回本部交渉における)社長挨拶	大野勇(森永乳業取締役社長)		1972.09.24
MZ211	18	ご回答	森永乳業株式会社		1972.11.04
MZ211	19	守る会の第15回本部交渉開催通知に対する回答	大村正之助(森永乳業専務取締役)		1972.11.27
MZ211	20	第15回本部交渉時における会社の考え方についての守る会への回答	森永乳業株式会社		1972.12.03
MZ211	21	守る会との確認書(文案)	森永乳業株式会社		1972..
MZ211	22	岡山自主検診費用	森永乳業渉外部岡山		1975.02.20

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ211	23	粉乳中毒事件についての各位宛の文書(冊子「粉乳中毒事件について」を添付)	森永乳業株式会社		1972.02.
MZ211	24	〈冊子〉「粉乳中毒事件について」	森永乳業株式会社		1972.02.
MZ211	25	〈冊子〉「粉乳中毒事件についてご理解をいただくために—その経過と弊社の考え方」	森永乳業株式会社		1973.02.
MZ211	28	森永粉乳中毒の精密検診実施後の措置御願	大串松次(森永乳業取締役社長)		1956.11.12
MZ211	29	守る会岩月理事長に宛てた恒久措置案の骨子の連絡文書	大村正之助(森永乳業専務取締役)		1971.12.14
MZ211	30	山口公衆衛生局長に宛てた森永粉乳中毒の精密検診実施後の措置御願 (文書の末尾に三木千太郎氏(元全国協議会委員長)が被災者代表として記名・押印)	大串松次(森永乳業社長)		1956.11.12
MZ211	32	恒久措置案	森永乳業株式会社		1971.12.19
MZ211	33	兵庫県山崎町安井町長に宛てた山崎町民に発行した飲用証明書についての照会文 (これに対する回答文も添付)	大村正之助(森永乳業専務取締役)		1971.12.29
MZ211	34	森永乳業が被災者に宛てた手紙	大野勇(森永乳業代表取締役)		1955.09.14
MZ211	35	森永乳業が被災者に宛てた見舞品(森永ベータドライミルク)引換券送付の通知	森永乳業株式会社		1955.10.
MZ211	36	五人委員会結成を受けて森永乳業が被災者に宛てた手紙	大野勇(森永乳業代表取締役)		1955.10.21
MZ211	37	五人委員会の結論を受けて森永乳業が被災者に宛てた手紙(原本) ※五人委員会の「森永粉乳中毒事件の補償等に関する意見書」(原本)も添付	大野勇(森永乳業代表取締役)		1955.12.17
MZ211	38	ひかり協会の発足を受けて森永乳業が被災者に宛てた手紙(原本)	大野勇(森永乳業取締役会長)		1974.06.
MZ211	40	森永乳業が被災者に宛てた手紙	磯部克己(森永乳業渉外本部大阪駐在渉外部長)		1971.10.
MZ311-0	1	森永粉乳中毒事件の補償等に関する意見書(コピー)	五人委員会		1955.12.15
MZ311-0	2	森永ミルク中毒事件をめぐる～医療の立場から⑧訴訟の終結と被害者の救済	伊多波重義(森永ミルク中毒被害者弁護団)	大阪保険医雑誌	1974.09.
MZ311-0	3	森永ミルク中毒被害者救済事業に関する実態調査(中間報告)	大阪府森永ミルク中毒対策会議		1976.09.
MZ311-0	4	PPP(汚染者負担の原則)のあり方について	阪本欣三郎(立命館大学教授)	立命館経営学	1976.09.
MZ311-0	5	森永ミルク中毒事件—その経過と教訓	阪本欣三郎(立命館大学教授)	経済評論	1973.03.
MZ311-0	6	恒久救済の展望とその財源問題—森永ミルク中毒被害者の自立と発達のために	阪本欣三郎(立命館大学教授)	立命館経営学	1981.11.
MZ311-0	7	事件の背景—粉乳技術の分析	川又淳司(立命館大学)	立命館大学人文科学研究 所紀要	1974.08.
MZ311-0	9	食品の安全を求めて—消費者本位の食品安全法制を!	全国消費者団体連合会		1982.06.15
MZ311-0	10	ショッキングレポート アツと驚いた『14年目の訪問』		週刊言論	1969.11.05
MZ311-0	11	14年目に訪れた森永乳業の“後遺症”	小坂橋(記者)	週刊ポスト	1969.11.07
MZ311-0	12	森永ヒ素ミルク事件・14年目に明るみに出た“後遺症”	中町(記者)	週刊朝日	1969.11.14
MZ311-0	13	西尾先生と	吉田幸永(保健婦)	社会医学研究	1973.07.20
MZ311-0	14	公害と企業責任	阪本欣三郎(立命館大学経営学部教授)	龍谷大学社研所報	1974.01.
MZ311-0	15	〈冊子〉森永ドライミルク中毒覚書	NHK徳島放送局森永事件取材班		1970.01.

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ311-0	16	あれから15年 大きな赤ちゃんは笑わない		週刊大衆	1970.04.16
MZ311-0	17	森永ヒ素ミルク事件を通して障害者問題を考える	丸山博(大阪大学教授)	みんなのねがい	1970.12.
MZ311-0	18	(ピラ)エンゼルマークボイコット 森永の製品を買うのをやめましょう	福島県生活協同組合連合会		1970.02.
MZ311-0	19	森永ヒ素ミルク中毒事後の経過—特に後遺症の有無をめぐって		紀州医報	1972.08.10
MZ311-0	20	<インタビュー> 告発される森永砒素ミルク事件	丸山博(大阪大学医学部教授)	公明	1972.09.01
MZ311-0	21	龍神サマースクールの案内及び開催要項	寒川利朗、児玉宏達(龍神サマースクール運営事務局)		1973.06.29
MZ311-0	22	<リーフレット> ふたたび毒ミルクをつくらせないために—森永ヒ素ミルク中毒事件—	京都森永問題研究会		1973..
MZ311-0	23	<ピラ> 大阪の力あつめ、不買と訴訟へ決起!	大阪府森永ミルク中毒対策会議		1973..
MZ311-0	24	森永ミルク中毒事件の経緯と現状	森永ミルク中毒被害者弁護団	ジュリスト	1974.01.15
MZ311-0	25	森永ミルク中毒事件—ひかり協会の設立と訴えの取下	森永ミルク中毒被害者弁護団	第6回全国公害研究集会報告集	1974.08.02-04
MZ311-0	26	企業責任:20年目の判決 社会的制裁は終わらず—森永乳業ヒ素ミルク事件の教訓		週刊ダイヤモンド	1975.04.26
MZ311-0	27	森永乳業の経営分析—森永乳業の社会的責任を問う—	阪本欣三郎(立命館大学)	経済評論	1973.04.
MZ311-0	28	<冊子> 森永ヒ素ミルク中毒事件<わが子博を奪われて> 福岡県下高校生の実態	中川美津子(福岡県立大牟田北高校養護教諭)		1972..
MZ311-0	29	森永砒素ミルク中毒事件の真相	岡崎哲夫(森永ミルク中毒のこどもを守る会事務局長)	地方自治	1970.02.20
MZ311-0	30	<冊子>くらしと健康シリーズNo.7 黒いミルクがのこしたきずあと—森永乳業ヒ素ミルク中毒事件—	日本生活協同組合連合会		1972.01.
MZ311-0	31	機関紙「ともしび」No.7~No.9	森永ミルク中毒事後調査の会		1972..
MZ311-0	32	財団法人森永ミルク中毒被害者救済対策委員会寄付行為案			1974..
MZ311-0	33	<冊子>食品添加物に含有される不純物の有害性—森永砒素ミルク中毒事件を中心として—	飯淵康雄(大阪大学医学部衛生学教室)	臨床栄養(臨時増刊)	1970.08.
MZ311-0	34	粉乳事件に対し森永乳業から日医へ依頼 治療費の請求等に就て		日本医事新報	1955.09.17
MZ311-0	35	「森永ヒ素ミルク中毒事件」はまだ終わっていない 私たちみんなの問題	丸山博(大阪大学医学部教授)		1970.02.
MZ311-0	36	私たち、みんなの問題 「森永ヒ素ミルク中毒事件」はまだ終わっていない	丸山博(大阪大学医学部教授)	生活学校	1970.02.
MZ311-0	37	乳業森永 その虚像と実像 MORINAGA UNMASUKED	浦田直美(立命館森永研究グループ代表)	手書き	1973.01.01
MZ311-0	38	岡山県における森永粉乳事件の概要(岡山県庁での説明資料)	丸山博(大阪大学医学部教授)		1970.05.31
MZ311-0	39	森永ヒソミルク中毒問題の特質と被害児実態調査の意義と問題点(森永ヒソミルク中毒後遺症に関する学術シンポジウム関係資料)	東田敏夫(関西医科大学教授)		1970.05.31
MZ311-0	40	「被害児世代の夜明け」に反論	大塚睦子(養護学校教諭)	朝日ジャーナル	1972.03.10
MZ311-0	41	<手記>調査研究班(協力医療陣)による森永ミルク中毒被害児の後遺症検診に参加して	上畑鉄之丞(新日本医師協会岡山支部)	守る会機関紙「ひかり」第9号附録	1970.03.10
MZ311-0	42	森永ヒ素ミルク中毒被害者が提起するもの—中毒事件のさまざまな教訓を「読みとり」公衆衛生活動の原点を学ぶ	大槻高(森永ミルク中毒の被害者を守る会) 高城佳代子(ひかり協会職員労働組合) 坪倉きよ子(京都市保健婦) 丸山博(元大阪大学医学部教授)	保健婦雑誌	1988.07.